



2021年 11月11日発行 会報 第1077号

今週のプログラム

(2021年 11月 11日 第1077回例会)

『留学生とのオンライン交歓会』

担当：藤田国際交流委員長

次週のプログラム

(2021年 11月 18日 第1078回例会)

卓話：地区ロータリー財団委員会より

担当：地区ロータリー財団委員会
委員長 村橋 義晃様

第1076回例会 (2021年 11月4日) の記録

<会長の時間>

水島 洋会長

皆さん、こんばんは。アクサさん、ようこそ。

本日は、国際奉仕委員会、ロータリー財団委員会、米山委員会のフォーラムになっています。

黒川委員長様、木下委員長様、どうぞよろしく申し上げます。

ただ、このコロナ禍で従来はできていたこと、すなわち山本加奈子さんのラオスへの渡航であるとか、米山奨学生の諸行事であるとかが中止になり、非常に不本意に感じておられるかもしれません。しかし、ウィズ・コロナと言われる時代にあって、オンラインを利用することによって、少しでも従来の活動を取り戻すことは可能になってくるかと思えます。

ちなみに、来週予定しています関西大学の留学生との交流会も、当初は学生を団体で行動させるのが不可ということで中止になりかけましたが、藤田会員のご尽力により、ZOOMでの開催を提案し2年ぶりに実現する運びとなりました。

今後とも前を向いていきますように、皆様のご協力をよろしくお願い致します。

《2022～2023 年度理事・役員の公示》

水島 洋会長

クラブ細則第3条第1項に基づき指名委員会委員5名の決議として
次の会員を候補者として公示いたします。

会長ノミニー (2023～2024 年度会長) 藤田 芳浩会員

■2022～2023 年度

副会長 高尾 修会員 幹事 山本 友亮会員 会計 柳原 健治会員 SAA 黒川 彰夫会員
クラブ奉仕委員長 藤田 芳浩会員 職業奉仕委員長 山田 克子会員
社会奉仕委員長 松田 親男会員 国際奉仕委員長 水本 徹会員
青少年奉仕委員長 木下 健治会員

<本日のビジター> 2021学年度米山奨学生 アクサ メイリアナ インタニさん

<出席報告> 水本 徹 SAA 補助

会員数 (内出席免除会員 1名) 17名

本日の出席者数 13名

(内出席免除会員 0名)

(名誉会員 0名)

本日の出席率 81.25%

10月のホームクラブ出席率 70.31%

<ロータリーソング>

全会員

♪国歌 君が代♪

♪奉仕の理想♪

<本日の演奏曲目>

近藤 美里さん

1. 秋の色は恋の色

2. 思い出の風景

3. Alone Again

<11月のお誕生祝> 柳原 健治会員 (15日)

Happy Birthday!!



松田親男 プログラム担当

<委員会報告>

松田 親男 プログラム担当

11月25日例会のプログラムは今年度2回目の『3分間卓話』です。

1回目の7月15日に卓話をされた6名の方を除いてお話をさせていただきますが、今回は「コロナ禍のおかげで」というテーマを設けますので、テーマに沿ったお話をお願いします。

<幹事報告>

山本 友亮 幹事

1. 大阪交通災害遺族会より、創立50周年記念誌『遺児の訴え』が届きましたので回覧致します。

2. 本日例会終了後、奥の席で理事会を開催致しますので理事・役員はお残り下さい。

<SAA 報告>

山田 克子 SAA 補助

※スマイルボックス

水島会員 フォーラム よろしくお願ひ致します。
高尾会員 コメントなし

※ラオス基金

藤田会員 今年も残り 2 ヶ月となります。
黒川会員 フォーラム よろしく！！
柳原会員 中長さんとコンタクト取ってます👍

※ロータリー財団

水本会員 厄払いに行こうかな・・・
高尾会員・相原会員 コメントなし

※米山記念奨学会

松田会員 フォーラム よろしく
山本友亮会員 フォーラムよろしくお願ひします。アクサさん頑張ってください。
柳原会員 また今月税務調査です。楽しいな～！
藤田会員 フォーラム宜しくお願ひします！！ 次週「留学生との交歓会」です。
高尾会員・相原会員・山田会員・山本雅之会員 コメントなし

※メイプル基金

柳原会員 今週は、釣りに行く予定です。

《本日のお料理》

1. 海鮮のサラダ仕立て
2. コーンクリームスープ
3. 春巻き
4. セイロ三種（焼売・もち米団子・海老蒸し餃子）
5. 四川麻婆豆腐
6. 白飯、ザーサイ
7. コトープリン



【11月4日開催 理事会議事録】

山本 友亮 幹事

1. ガバナー補佐選出について

水島会長より再度現在までの動向説明あり。現在まで結果報告なし。

2. 指名委員会メンバーの再確認

指名委員会のメンバー5人は当年度会長エレクトと前4年間のパスト会長である事の再確認

3. クリスマス例会の件

ル・ジャルダンに確認した所、収容は最大32名まで 費用はお一人1万円目標
会員からの徴収なし。ゲストなどの参加者アンケートを早急に行い、人数を決める。
(藤田委員長にアンケート作成とアナウンスをお願いする)

4. 関西大学留学生への御礼の件

次週留学生交歓会に参加していただく5名に御礼の品を進呈する。

- ① X'mas 例会に招待する。
- ② 2,000～3,000円相当の品物を選んで進呈する(藤田委員長に一任する)

5. ゴルフ同好会 会長賞支出の件 (クラブ内コンペの件)

ゴルフ同好会のメンバー減少に伴い、会長からの5万円贈呈は来期より無しにする事に決定する。

～…～…～…～…～国際奉仕委員会フォーラム～…～…～…～…～

***国際奉仕・ロータリー財団委員会**

黒川 彰夫 委員長

コロナ禍でロータリー活動を根本から考える機会でありましたが、わがクラブと地区の国際奉仕委員会とに大きな考えのずれを感じざるを得ませんでした。つまり、残り少ないチャーターメンバーとして、わがクラブでは、国際奉仕は非常に大切な活動と考え、理念的な部分を忘れてはならないと先輩諸氏から叩き込まれてきました。しかし、様々なクラブのホームページを拝見していると、やはり、理念を大切にしているクラブは決して少なくないのを知って安堵しました。ここに失礼ですが、遠賀ロータリークラブのHPを紹介させて頂くことに致しました。それは以下の通りです。

国際奉仕 (International Service) とは、奉仕の第四部門である国際奉仕は、書物などを読むことや通信を通じて、さらには、他国の人々を助けることを目的としたクラブのあらゆる活動やプロジェクトに協力することを通じて、他国の人々とその文化や慣習、功績、願い、問題に対する認識を培うことによって、国際理解、親善、平和を推進するために会員が行う活動から成るものです。そして国際奉仕は概念上、次の様な四つの一般的分野に分類できます。

1. 世界社会奉仕プログラム
2. 国際レベルの教育および文化交流活動
3. 特別月間と催し
4. 国際的な会合

さらに、個々のロータリアンとロータリークラブの責務については、最新手続要覧の「国際奉仕」に従い、ロータリークラブが存在する国家間の関係が緊迫している場合には、悪意や誤解を増すことがない様に関係する全てのクラブは、細心の注意を払わなければなりません。また、ロータリーの世界中の会員はさまざまな政治的見解を持つ個人であるため国際ロータリーは、政治的主題に関していかなる行動あるいは意見の表明も行いません。

ただし、いかなる国または地域においてもロータリーの健全な発展のためには、言論の自由と結社の自由が不可欠です。以上ですが、この理念を私たちも忘れてたくありません。

***米山奨学委員会**

木下 健治 委員長

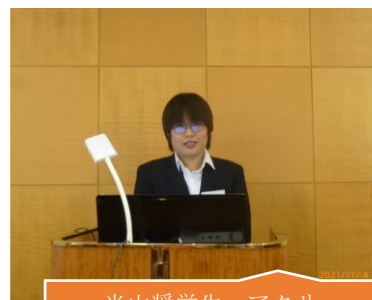
お疲れ様です。このところのフォーラムでは例年、米山奨学生に研究発表をしてもらっています。日本でどういう事を学ばれているのか私達も興味があります。昨年はマ・イーキンさんにイギリス・オックスフォードでの様子をPPT. で送っていただき、皆様にお伝え致しました。本日はアクサさんに発表をお願いしています。緊張されるかと思いますが、どうぞよろしくお願ひ致します。



黒川国際奉仕委員長



木下米山奨学委員長



米山奨学生 アクサ
メイリアナ インタニさん

<卓話>

インドネシアにおける中小零細企業支援の仕組みの革新

支援組織の民間非営利組織への転換

アクサ メイリアナ インタニ

インドネシアでは、中小零細企業の数全企業の数に対する割合は99%以上であり、一般的に輸入品に依存していないから経済危機にも直接影響を受けにくい。そのため、インドネシアの経済を発展させるために、中小零細企業の存在が重要ということが分かる。

しかし、インドネシアの中小零細企業は大きさの問題を直面されている。中小零細企業者は、経営知識不足で、利益が上がらないから、政府からの低利子ローンを返済できないケースが多い。

この問題に対して、インドネシアの政府はルマ・クレアティブという中小零細企業支援の仕組みを設置している。インドネシア共和国法律第19号において、国有企業を設立する目的の1つに中小零細企業の支援が掲げられている。それを実施するために、2016年、国有企業省は国有企業と協力し、ルマ・クレアティブを形成した。全国のルマ・クレアティブの数は233(2019時点)ユニットある。その233のルマ・クレアティブは233市町村に立地しており、14の国有企業が施設を整備し、運営されている。施設は、ルマ・クレアティブの事業のために特別に建設でなく、既存の建物(元飲食店や住宅など)である。

しかし、中小零細企業者の参加数がまだ少ない状態(0.95%)である。それに加えて、ルマ・クレアティブの側も人員不足や事業の実施の問題も起こっている。そのため、インドネシアの中小零細企業全体の支援を入れて、革新しなければいけない。

インドネシアの中小零細企業支援の仕組みを革新する際に、インドネシアと日本のそれぞれ第二の都市であるスラバヤ市と大阪市の中小零細企業支援の仕組みを比較検討する。大阪市における中小零細企業支援の仕組みのうち大阪産業局が運営している大阪産業創造館を主な研究対象とする。研究方法として、文献研究、インタビュー調査、見学などを用いた。

大阪産業創造館とルマ・クレアティブの比較から、以下4つの点について考察した。

まず、第1は政府主導か民間主導で行うこと。ここでは、民間主導の方が良いと考えられる。なぜかと言えば、3つの理由を挙げられる。その3つの要因は次の①、②、③で説明する。

- ① 独立組織であるから、政府の命令でなく、自分の計画によって事業を行う。
- ② 民間部門から人材を雇うことができるから、中小零細企業をいろいろな面でサポートできる。
- ③ 政府よりシンプルな構造を持ち、調整がスムーズにできる。

第2に、営利組織か非営利組織で設立すること。筆者は非営利組織の方が良いと考える。理由としては、以下の3つを挙げる。

- ① 社会との関係を結び、信頼性を高めることができる。
- ② セミナー・イベントで事業者同士の経験を分かち合い、やる気を生み出すことができる。
- ③ 寄付を通して、資金調達を強化することができる。

第3には、支援事業は副次的か専門的に行うこと。ここでは、専門的事業の方が良いと考える。理由としては、以下の2つを挙げる。

- ① 集中的に事業を実施できる。
- ② 包括的なサービスを提供できる。

第4には、トレーニングと資金調達は分離するか、連携・接続で行うこと。トレーニングを資金調達と連携すると良いと考える。なぜなら、2つの理由を挙げられる。

- ① 参加しなければ、政府による資金調達や税金軽減を得られない。
- ② 起業前のトレーニングによって経験や知識を備え、的確に準備を整えることができる。